



おのみ



令和3年度 9月号
志布志市立尾野見小学校

上を向いて歩こう！

校長 宗岡 克英

2学期が始まりました。子ども達が元気に登校できたことを嬉しく思います。久しぶりに会った子ども達は肌の色が少し黒くなり、身長が少し伸びたような印象を受けました。今年の夏休みも新型コロナウイルスの感染拡大で行動が制限され、思いっきり夏休みを楽しむことができなかったことと思います。しかしながら子ども達の明るい笑顔に、子ども達それぞれが充実した夏休みを過ごしたことをうかがい知ることができました。

始業式では、2年生の木之下果花さんと5年生の小玉虎次郎さんが全校児童の代表として夏休みを振り返り、2学期に向けての目標を発表しました。果花さんは「2学期は、どんなことでも早目に準備をしっかりとすることをめあてにしました」と発表しました。虎次郎さんは「2学期は学校や家で、必ず毎日読書をするという目標をたてました」と発表しました。2人とも1学期の反省をふまえての目標でした。代表以外の子ども達もそれぞれ気持ちを新たに、2学期の目標をたてたことと思います。目標が実現できるように頑張っていきましょう。

夏休み中の嬉しいニュースを2つ紹介します。



尾野見同志会の方々が中心となって地域に寄付を募り、子ども達のために花火大会を催してくれました。祭り等が中止になりさびしい思いをしている子ども達を喜ばせるために企画したそうです。短い時間でしたが、校庭の真上に上がる夏の夜の花火を楽しむことができました。花火を見ながら子ども大人も勇気づけられたことと思います。9月8日（水）の南日本新聞の若い目に本校4年生の吉留翔琉さんの投稿「尾野見の花火大会」が掲載されていました。「ぼくたちのために花火大会を開いてくれたちいきの人たちにかんしゃします。ぼくはこんな尾野見集落が大好きです。」まさに同感です。

もう1つの嬉しいニュースは体育館がリニューアルされたことです。外壁が明るい色に塗られ、また内部も床が張り替えられました。そして天井の照明がLEDライトになりました。とても明るく、まるで新しい体育館のようです。早速運動会の練習等で活用しています。11月には1・2年生のおのみっ子フェスティバルが体育館で開催されます。是非天井のLEDライトも御覧になってください。きっと気持ちも明るくなると思います。2学期もコロナに負けず上を向いて歩いていきましょう。



2年生 木之下 果花さん



5年生 小玉 虎次郎さん